

みんなの生活展2016

10月15日(土)・16日(日)
大街道商店街で

消費生活、健康など暮らしに役立つ情報を紹介します。また、まつやま農林水産物ブランドが当たるスタンプラリーなど楽しいイベントも開催。ぜひ、ご来場ください。



昨年のイベントの様子

日時10月15日(土)・16日(日)10～16時

会場大街道商店街(大街道一・二丁目)

内容〈親子体験コーナー〉万華鏡作り、育児体験など〈消費者プラザ〉暮らしに関する各種相談など〈環境プラザ〉水やリサイクルに関する展示など〈健康プラザ〉食事や医療(健康)に関する各種相談など〈催し〉15日(土)=みきゃんによるえひめ国体応援イベント・日本舞踊など▶16日(日)=洋楽演奏・獅子舞の披露など〈その他〉姉妹都市サクラメント市PRイベントなど

問みんなの生活展事務局(市民相談課内) ☎948-6381・FAX934-1768

フィールドミュージアムツアー2016 ～道後のアートを感じよう!～参加者募集

各所で解説を聞きながら、子規や漱石の生きた時代の逸話や、現代につながる道後のまちなみの魅力を知ることができます。一緒に、楽しく道後のまちを巡りませんか。

日時10月30日(日)13～15時

内容FM愛媛パーソナリティーの中岡良一さんと、道後の子規・漱石ゆかりの場所や宝蔵寺、道後アート2016の作品などを巡る▶集合・解散=放生園坊っちゃんカラクリ時計前(雨天決行)
※参加者に記念品のプレゼントあり

定員40人(先着順)

料金500円(軽食代・傷害保険料含む)

申し込み10月29日(土)(必着)。はがきまたはファクス・eメールで参加者全員の住所、氏名、電話番号(中学生以下は保護者同伴)を〒790-0001一番町三丁目20 坂の上の雲ミュージアム「フィールドミュージアムツアー2016」係 sakakumomuseum@yon-b.co.jpへ

問坂の上の雲ミュージアム ☎915-2600・FAX915-3600



当日の軽食(抹茶と和菓子のセット)

ことば 響け!!言霊第9回 “ことばのがっしょう” 群読コンクール

参加グループ募集▶平成29年1月13日(金)(消印有効)

部門小学生低学年(小学1～3年生)▶小学生高学年(小学4～6年生)▶中学生

※1グループ2人以上、50人程度まで

発表テーマ伝えたいメッセージ(既存の詩・歌詞・手紙やオリジナル作品。3分以内)

審査映像審査を通過したグループは平成29年2月19日(日)に開催するコンクールに出場

申し込み平成29年1月13日(金)(消印有効)までに、直接または郵送で申込用紙(市ホームページにあり)と映像を〒790-8571文化・ことば課(市役所本館5階)ことばのちから担当へ

※詳細はことばのちからHP<http://www.kotobanochikara.net/>を確認
問文化・ことば課 ☎948-6952・FAX934-1287



伝える力が大切

PCBを含む電気機器を使用または保管していませんか?



【コンデンサ】(蓄電器)

【トランス】(変圧器)



【蛍光灯安定器】(家庭用なし)

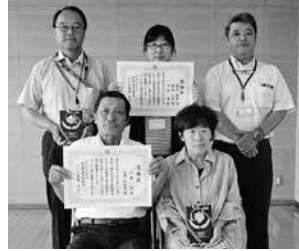
15課 問
99 ☎ 廃棄物
28 ☎ 948 対策
FAX 6
934 9

なお、PCBが含まれているかどうかは、電気機器に記載されているメーカー、型式、製造年月などの情報から判別できますので、各メーカーに問い合わせるか、中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)のホームページをご確認ください。

PCB(ポリ塩化ビフェニル)が含まれている電気機器(トランス、コンデンサ、家庭用を除く蛍光灯安定器など)を使用・保管している場合、PCB特別措置法に基づき、市への届出が必要です。

PCBの種類によって処理期限が決められており、最も処理期限の早い高濃度(5000mg/kg超)のトランス・コンデンサは、平成30年3月31日までに処分しなければなりません。現在使用中であっても、期限内に使用を中止し、適正に処分しなければならぬので、早急に事業所の電気室、キュービクル、倉庫などを点検してください。

人命救助者を表彰



951
7340
951
0894
4
FAX

7月27日に津和地島で車両ごと海に転落し、助けを求めていた高齢者夫婦を海に飛び込むなどして迅速で適切に救助したとして9月2日、感謝状を贈呈しました。

表彰を受けたのは、三島茂さん、三島依佐美さん(写真前列左から)と市職員3人。

表彰を受けて三島茂さんは「2人も元気で助けることができたことが何よりよかった」と話しました。

西消防署の後藤署長は表彰状と盾を授与し、「偶然居合わせた皆さんの連携とチームワークで人命を救うことができ、心から感謝します」と述べました。

災害時にも水道水の安定供給を

久米小学校に応急給水栓などを設置



7
75
センター
水道管路管理
FAX 965
121
989
84

来年度から本格着手予定の「応急給水拠点の整備事業」のモデル校として整備していた久米小学校での工事が完成し9月1日、同校で完成式典が開催されました。

この事業は、地震などの災害で避難した市民に飲用などの生活用水をできるだけ早く届けるため、指定避難所である小中学校に応急給水栓を設置するものです。

式典には児童のほか、地元の自主防災組織の防災士など約220人が参加。平岡公営企業管理者は、「今後も、職員がいなくても地域住民が中心となって給水活動が行える応急給水拠点を整備していきたい」と話しました。

世代別 市長と話そう!

タウンミーティング



活発な意見交換が行われた当日の様子

●意見・要望
●音楽に関するイベントをもっと開催してほしい

「学生の視点で松山市を考える」をテーマに開催

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学の学生26人が参加し、「学生の視点で松山市を考える」をテーマに8月24日、世代別タウンミーティングが開催されました。

学生からは、就職、子育てや福祉の課題、外国人観光客誘致などの意見や要望が挙がりました。

野志市長は、若年者向けに松山の暮らしやすさについてまとめた冊子や、北条児童センター整備をはじめとした子育て施策などを紹介し、「行政としてさまざまなことに取り組み中で、若い人たちからも気づいたことを言ってもらいたい」と話しました。

幅広い世代への支援 伝わった



松友 恵美さん(南吉田町)

市が子育て世代からお年寄りまで、幅広い世代への対策・支援をしていることがわかりました。

感想
●一市民として松山をよりよくするための意見をこれからも伝えたい

問タウンミーティング課 ☎9486333・FAX9342336